

議題2(諮問事項)

第3期千葉市国民健康保険事業財政健全化に向けたアクションプランについて

「第3期千葉市国民健康保険事業財政健全化に向けたアクションプラン」(以下「第3期国保AP」)における数値目標のうち、「保険料収納率」について、下記の通り見直したい。

目標数値(保険料収納率)の見直し

- ・被保険者は高齢者が多く、医療の高度化などで医療費が増加し、今後は保険料の増額改定が見込まれている。
- ・2018年度の決算見込(12月末時点)において、現年分・滞納繰越分収納率がすでに2019年度の数値目標を上回っている。

⇒ 保険料の増額改定が予定されている2019年度から第3期国保APの目標数値を見直し、更なる歳入の確保に努めていきたい。

【見直し前】

	2018年度 決算見込 (12月末現在)	第3期国保アクションプラン数値目標(%)			
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
現年分	91.1	90.5	91.0	91.5	92.0
滞納繰越分	21.3	20.1	20.6	21.1	21.6
全体(参考値)	77.0	76.2	77.0	78.0	78.9



【見直し後】

	2018年度 決算見込 (12月末現在)	第3期国保アクションプラン数値目標(%)			
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
現年分	91.1	90.5	92.3	92.8	93.3
滞納繰越分	21.3	20.1	20.6	21.1	21.6
全体(参考値)	77.0	76.2	78.7	79.2	79.8

※2019年度からは現年分滞納者への対策を重点に強化していく。

徴収対策の強化

数値目標(保険料収納率)を達成するために徴収体制の整備を行い次の取り組みを行っていく。

- ・現年分滞納者への委託による催告
- ・SMS(ショートメッセージサービス)を利用した催告
- ・転出滞納者の調査
- ・現年分滞納者への徴収対策(差押)の強化